

大原やすお

福岡市議会議員 《早良区》



ごあいさつ

みな様には、清々しく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年は突然の衆議院総選挙でしたが、みな様からの多くのご支援により古賀あつし候補は議席を勝ち得ることができました。自民党は多数の議席を獲得し、安倍政権が誕生しました。しかしながら、これは「何も決めきれなかった」民主党政権に鉄拳が下ったのであって、自民党が評価されての議席ではないと思います。責任政党として国内外の信頼修復や景気対策、福祉等の諸問題に的確に取り組んでいただけると期待をしています。なかでも、本市と関係が深い韓国や中国との一日も早い関係改善を切に望んでいます。私は、議会におきまして早良区南部の魅力や活性化に関する提案や質問を多くしてきました。早良区南部はただ単に都市部に水や新鮮な食べ物を供給するだけではありません。自然と長い歴史のなかで培われた文化や人間関係(絆)が都市部の人たちに潤いを与えていると思っています。「もつと住みやすい福岡市」実現のために、都市部との交流と対話を促進していくことに努力していきたいと思っています。みな様の尚一層のご指導とご支援を心よりお願い申し上げます。 **大原やすお**

古賀篤 衆議院議員誕生



皆さまの力強いご支援により古賀篤衆議院議員が誕生しました。「多くの支持を頂いた重みを感じている。期待を裏切らないよう、しっかりと仕事をやります。」初当選を果たした古賀篤氏は三区支部の事務所を抱負を語り、国政へ一歩踏み出すことに気を引き締めた。写真は政権奪還の新聞記事を読み笑顔を見せる古賀氏。(西日本新聞)

古賀篤議員から

三区の多くの方々のご支援により初当選を勝ち取ることが出来ました。喜びというより責任の重さを実感しています。財務官僚から政界への転身。選挙期間中は2〜3時間の睡眠しか取れませんでした。財務官時代は予算編成時等、徹夜の連続で業務には慣れています。そこで得たさまざまな行政経験を生かしご期待を裏切らないよう頑張ります。

大盛況のフルーツ狩り



後援会女性部バスハイク手にいっぱい梨ぶどう、おなか一杯のバイキング昼食。総勢一六〇名の盛況となり食事会場が二カ所に分かれるほどでした。16万本のひまわりも議員の「のど」も楽しんですてきな一日となりました。(写真は写真大原議員を囲み楽しいひと時)



「もち餅屋?」写真は地域のもちつきに参加させて頂いたときのもの。どこに伺っても「つき手」の大原議員。幼い時から体が覚えていたのでしょつか、お手のものです。

他にも夏祭り、運動会、敬老会などにおじゃまさせていただいて和みの中で地域のご要望やご意見を頂いています。



第6自民党支部を設立

かねて準備を進めていました「第6自民党支部」をこのほど大原市議事務所に設立しました。これは第3選挙区(早良区、西区、糸島市)の自民党議員を中心に各地域に設置、自民党支持者を組織化して国政へ通じるパイプを確立するものです。これによりマスコミ関係のほか国レベルの党情報を手直接入手し政治活動の活性化を図ろうとするものです。もう、すでに50名以上の自民党支持者の登録を頂いています。随時入会を受け付けております。詳細は事務所にお尋ねください。

人と環境と都市が調和のとれたまち

大原議員が所属している第二委員会。ことも未来、教育、保健福祉にかかわる事柄を審議しています。議決され動き出した2件を紹介します。

市立こども病院が着工

福岡市中央区唐人町からアイランドシティ(人工島)への移転で議論を呼んだ、こども病院(新病院)福岡市立病院機構が昨年の12月15日に着工しました。6階建ての病棟で耐震性を備え広さが現在の約1.8倍のほか、重症治療室を新設、さらに新生児回復治療室が強化されます。完成は平成26年11月の予定となっています。



(イメージ)

ご案内

後援会長 重松 森雄
新年を迎え、みな様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。大原議員もみな様に一番近い議員でありたいと精進を重ねておりますが、新年にあたり覚悟を新たに頑張る決意でございます。

新春の集いにぜひご来席頂き大原議員に激励とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

お気軽にお立ち寄りください。
大原やすお事務所
福岡市早良区次郎丸4丁目9-37 (サンラック次郎丸)
TEL 092(863)9567
FAX 092(863)9568

福岡市議会議員 大原やすお 後援会
2013 新春の集い
■日時/平成25年1月26日(土) 午後1時より
■場所/西新パレス 福岡市早良区西新2丁目10-1 TEL.092-841-2251
■会費/お一人様 1,000円(当日会場)

青少年科学館の 基本構想できる



(イメージ)

福岡市中央区舞鶴にある「少年科学文化会館」を同六本松の九大跡地の一角に移転することを想定した「福岡市青少年科学館基本構想(仮称)」がこのほど発表されました。基本理念として「時代をこえ、世代をこえ、地域をこえて…人と科学の出会いを通じて、学び、つながり、未来が広がる」と。また役割・機能として「福岡市の強みを生かしながら、科学の原理や最新の科学技術に親しみ、楽しく学べる参加型の科学館とする」などとしています。

大原やすおの 議会報告



福岡市が目指す「人と環境と都市が調和のとれたまち」を創っていくために質問致しました。質問と答弁の骨子は次の通りです。

決算特別委員会

平成24年10月11日

背振山系の自然の価値とその魅力の活用について

質問

医学的にも裏付けされている「森林セラピー」の背振山系での積極的な取り組みを望む。豊かな自然をまちづくりに生かすためにも要所にトイレや駐車場の設置を要望する。

答弁

市民の憩いのまちを目標に進める。「早良みなみ塾」を主催するなど市民と共働のまちづくりを検討し活動を支援していき、人と環境と都市が調和するまちづくりを進めていく。

曲淵ダム周辺の水源かん養林の取り組みについて

質問

安全で良質、そして豊かな水を育むために水源林の保全は大切である。そのかん養林を市民のために、また地域活性の道具として活用できないかと考える。実際のな知識や経験をもつ地元との連携を望む。

答弁

曲淵ダム周辺は水源涵養林としての竹の除伐、広葉樹の植栽等保全に努めている。安全対策に留意しながら散策路等、場所の提供や伐採した木や竹を活用する取り組みに協力していきたい。

吉武高木遺跡の整備計画について

質問

昭和59年に発見された吉武高木遺跡は国内でも重要な遺跡として評価されていますが、これからのように整備されていくのか、遺物の展示・公開または大型建物の復元はあるのか。また、歴史的文化遺産の管理活用についてもお尋ねしたい。

答弁

「早良王墓」を含む弥生時代の希少な遺跡として平成5年に国の史跡に指定された。今後整備し順次部分公開を行い平成28年度に全体を公開予定。出土品の展示施設や大型建物の復元は本格整備の段階で検討したい。また、観光資源として集客につなげる目的で経済観光文化局を新設した。

地域の声



皆さまの一番近くにいる身近な議員でありたいと心がけている大原議員へ寄せられた地域の方からの声を紹介します



用水路の路肩舗装工事

次郎丸6丁目内の用水路の路肩の草刈りを毎年地域で行っているが、水路転落防止の柵が高くて老人が乗り越えるのに困難を期すことから、今後、草が生えないよう路肩の舗装について大原議員を通じて要望書を提出した。その結果、市から現地の状況を見に来て舗装の方向で検討が進められるようになった。

有田校区自治協議会 会長 原田信彦



街路灯の設置

西油山ハイツバス停から徳栄寺までの坂道には街路灯が少なく、冬場は夕方5時を過ぎると暗くて小中学校の生徒の下校時は不心得でなりません。また、朝夕にウォーキングされる方も、事件事故の心配をされていました。町内会を通して関係機関に要望書を提出すると同時に大原議員に陳情をお願いした結果「2月早々に設置します」との連絡を受け安心し心待ちにしています。

野芥5区町内会 原 興八郎



地域に密着！ 速やかな対応

- ◎ 終了
- 進行中
- 計画
- * 検討中

大原議員には地域の方から様々な要望が寄せられます。できる限りスムーズに解決できるよう関係各局をお願いして力を尽くし、皆さまに喜ばれています。

これまでにお世話させて頂いた例

- ◎ 原西校区
 - 小田部南公園の改修(写真③)
 - 原西小学校西側花壇の整備
- ◎ 野芥校区
 - 防犯灯新設(5基)年度内(写真①)
- ◎ 田村校区
 - 道路と水路の整備(田村3丁目)
 - 次郎丸団地バス停シエルトの建替
- ◎ 四箇田校区
 - 側溝整備(四箇5丁目)
 - ◎ 金屑川のヨシの除去(重留5丁目)
- ◎ 脇山校区
 - ◎ 林道、側溝の新設(小笠木)
 - 農道舗装(椎原)
 - ◎ 農業用水路の改修(椎原)
 - * 下水道の延長(椎原)
- ◎ 入部校区
 - 内野次郎丸線道路の拡幅
 - 里道拡幅舗装(西入部4丁目)
 - 重留新池の市への委譲



③小田部南公園



④西原田バス停付近

お役に立つことができ嬉しく思います。どうぞお気軽にご相談ください。

背振山の地下に巨大実験装置

夢膨らむ「国際リニアコライダー」

新年早々、夢に向かって世界的な巨大実験装置誘致の話題が注目されています。「国際リニアコライダー」という最先端の基礎科学研究構想です。これは福岡から佐賀に至る背振山脈の地下深く岩盤を直線で約30kmくり抜き、その



中に電子加速器を設置して、宇宙誕生の謎を解明しようというものです。

大原議員が6月の一般質問で「国際リニアコライダーは子供たちに夢を持たせる壮大な事業である。先端技術発展への寄与だけでなく本市への経済効果は

大きい。積極的に誘致活動を進めるべきではないか。」と質問しました。市長は「実現すれば国際学術都市が形成され、本市にとっても魅力的な計画と認識している。誘致活動を展開する」と答えています。

一方、建設は世界に1箇所だけ。スイス、米国、ロシアのほか日本でも岩手県の北上山地が候補地に名乗りを挙げています。このため福岡、佐賀両県だけでなく、新たに沖縄を含む九州・山口の7県7市町が参加、オール九州で誘致に取り組んでいくことを確認しています。誘致までには、まだ高いハードルを越えなくてはなりません。大原議員も引き続き取り組んでまいります。世界的な先端技術の発信拠点として夢は膨らむばかりです。

詳細は福岡市のホームページをご覧ください。議会映像も放映されています。

福岡市議会 で 検索



携帯サイトのご案内
こちらのQRコードを読み込み、表示されるURLからアクセスしてください。